

はじめに

大学入試において『文学史』問題が配点のうえで占める割合はそう高いものではないが、**知ってさえいれば確実に得点できる**ものだ。また、直接には文学史的知識が問われない場合でも、たとえば古文において、その作品の概要を知らないと言えられない問題が出題されたり、現代文においても、近代文学に対するある程度の知識が前提にないと読みにくい文章が出題されることもある。このように、直接的にも間接的にも、文学史の知識は**入試国語に影響を及ぼす**のである。

しかしながら、『文学史』をやらねばと思いつつもいたずらに月日ばかりが経ってゆくのが受験生の現状ではないだろうか。何しろそこには膨大な情報が含まれており、どのようにして、そして、どの程度まで記憶すればいいのか明確な指針がないといった分野なのだから、受験生諸君が当惑するのは無理もない。

大学受験では、いたずらに多くの情報を記憶する必要はない。一方、いくら簡便であっても重要な情報を欠いていては不完全である。したがって、単に重要事項を列挙するばかりでなく、受験の実情に即して、しかも効率的に学習できる参考書や問題集が要求されることになる。

そこでわれわれ編集委員は、これらの要求に応えるべく本書を作成した。全国の国公立・私立を問わず、実際の大学入試における傾向を徹底的に分析したうえで出題

された事項をもれなく、しかも簡便にして記憶しやすいように工夫して、解説として「**まとめ**」と「**図表**」を作成、次いで全分野にわたって実力を確認するのにふさわしい**良質の問題を精選**し、文学史問題演習としても必要かつ充分な「**問題編**」をまとめた。つまり、理解と暗記のためのプロセスに基づき、『文学史』の参考書としても、問題集としても、**受験に即して、効率的に学習できる**ものとした。

改訂版によせて

初版から31年が経ち、その間に大学入試も大きく変わりました。大学入試センター試験が終了し、大学入学共通テストが実施されています。また、当時に比べて古文の文章を出題する大学が減ったことなども大きく変わった点でしょう。ところが、入試問題を調べてみると、現古融合問題が出題されたり、現代文の問題の中に古文の『文学史』が出題されたりして、古文の出題が減ったからといって、『文学史』の古文の比重が下がったとは言えないのです。今回の改訂にあたっては、近年の入試問題を徹底的に分析した上で、問題・解説などを変更しました。現代文の問題の中で古文の『文学史』が出題された問題も追加しています。受験生みなさんが本書を効果的に利用して、受験の成果に結びつけてもらうことを、編者一同願ってやみません。

本書の使い方

本書は全体を「現代文の文学史」「古文の文学史」「漢文の文学史」の三部で構成し、それぞれが「**まとめ**」「**図表**」と「**問題編**」から成っている。諸君の都合にあわせて、どこから取りかかってよい。

また、入試出題頻度および文学史上の重要度を考慮したうえで、それを**色太字・太字・細字**の順で示した。以下に標準的な本書の使い方を記しておこう。

★まとめ

初めにここで『文学史』の大きな流れ（時代背景も）を掴んでほしい。流れには流れを形成した**原因**があるからむやみな暗記ではなく、大筋を理解したうえで、各流派や作品群を押さえていく方法がより有効だ。

★図表

「ポイント」で学習テーマを確認するとよい。

★問題編

実際に出題された多数の文学史問題から良問を選び文学史の知識が完成するように編集した。

1 「基本チェックテスト」は文学史最重要の基本問題を頻度順に配置した。
2 「発展問題」は実戦的な入試問題です（一部改訂を加えています）。

★索引

作家名や作品名などから、詳しい説明の頁を検索するのに便利のように配慮した。

★解答・解説（別冊）

間違いの選択肢にも、できるかぎりコメントすることとで、さらに『文学史』の理解が深まるよう配慮した。

▼凡例▲

*現代文		*古文・漢文	
『 作品名	『 作品名	『 作品名	
「 雑誌名	「 雑誌名	「 雑誌名	
〈 文芸思潮	〈 文芸思潮	〈 ジャンル	
〃 文学史用語	〃 文学史用語	〃 文学史用語	
〃 文学結社名	〃 文学結社名	〃 文学結社名	
↓ 影響関係		↓ 影響関係	

もくじ

現代文の文学史

散文	まとめ／写実主義／擬古典主義／浪漫主義／自然主義／……	8
	余裕派／耽美派／白樺派／新現実主義／プロレタリア文学／	
	転向文学／新感覚派／新興芸術派／新心理主義／昭和一〇年前後に活躍した人々／	
	無頼派／第一次戦後派／第二次戦後派／第三の新人／戦後の世代／	
	内向の世代／現代の文学	
詩	♣作家の本名 ♣親子とも文学者 ♣知っておきたい小説の有名な冒頭の表現	
	まとめ／新体詩／浪漫主義／象徴派／耽美派／理想主義の詩／……	46
	完成期の口語自由詩／モダニズムの詩／戦後詩	
	♣覚えておきたい雑誌 ♣主な翻訳詩集	
短歌	まとめ／明星派／明星派とアララギ派と別個の歌人／《根岸短歌会》／……	58
	アララギ派／戦後の短歌／前衛短歌／現代の短歌	
俳句	まとめ／「ホトトギス」／自由律俳句／脱「ホトトギス」／……	66
	人間探求派／現代俳句	
問題編	基本チェックテスト／発展問題／……	71
	♣文学者ではないがよく出題される人物	

古文の文学史

上代	まとめ／上代の文学／……	99
中古・中世	まとめ／詩歌／作り物語と歌物語／日記・紀行／……	102
	歴史物語・史論・能楽論／随筆／説話／軍記物語	
	♣「八代集」とだれが決めたの？	
近世	まとめ／江戸の小説／国学・近世和歌・儒学・漢詩文／俳諧	126
	♣作品名逆引き文学史	
問題編	基本チェックテスト／発展問題／……	139
	♣有名古典作品の冒頭	

漢文の文学史

諸子百家／詩人／唐宋八大家／歴史書	174
♣詩人の代表的作品 ♣二十四史	
問題編	181
発展問題	
文学史ベスト	188
現代文	
古文	
索引	192
文学史年表	202

近代文学のまとめ(詩)

近代詩は、〈新体詩〉のジャンルを拓いた『新体詩抄』によって始まり、森鷗外ほかの訳詩集『於母影』により新時代の抒情の道を開き、日清戦争後に島崎藤村の『若菜集』に〈浪漫派〉の詩として結実した。さらに上田敏は訳詩集『海潮音』で〈象徴派〉の詩を紹介し、蒲原有明、薄田泣菫などの詩人に大きな影響を与えた。また北原白秋の『邪宗門』『思ひ出』など〈耽美派〉の文語自由詩が盛んになった。

大正期に入ると、白樺派の影響を受けた高村光太郎が出て、『道程』で〈理想主義〉の詩を書いて〈口語自由詩〉への道を開き、萩原朔太郎が『月に吠える』で、完成した〈口語自由詩〉としての優れた作品を世に出した。このころ、室生犀星は『抒情小曲集』で、宮沢賢治は『春と修羅』で独自の世界をうたった。

昭和期に入ると、中野重治などの〈プロレタリア詩〉、次いで〈モダニズム〉の詩が現れ、『詩と詩論』を中心とした三好達治、西脇順三郎、『四季』の中原中也、『歷程』の草野心平などが活躍した。

第二次大戦後は、戦後の荒廃の中で生きる道を探った鮎川信夫などが『荒地』で活躍し、また押韻等の修辞法を用いた口語詩を主張した加藤周一などが〈マチネ・ポエティック〉の運動を展開した。

文語自由詩＝文語で書かれているが五七五七七の短歌や、五七五の俳句に対し、定型にこだわらない詩型(非定型)の詩。

口語自由詩＝口語で書かれた、非定形の詩。

押韻＝詩の中で韻を踏むこと。

マチネ・ポエティック＝西欧象徴主義の詩を範とし、日本語による象徴詩の可能性を追求した文学運動。

「ラム 覚えておきたい雑誌

「我楽多文庫」(明18・5～明22・10) 尾崎紅葉、山田美妙らが回覧雑誌として創刊した、硯友社の機関紙。

「文学界」(明26・1～明31・1) 北村透谷、島崎藤村らにより創刊され、明治二〇年代の浪漫主義運動を推進した。透谷の評論、樋口一葉の『たけくらべ』、藤村の詩などを掲載した。

「ホトトギス」(明30・1～) 正岡子規主宰の俳句雑誌。高浜虚子が後を継ぎ、夏目漱石の『吾輩は猫である』を掲載した。

「明星」(明33・4～明41・11) 与謝野鉄幹主宰の詩歌雑誌。浪漫主義を鼓吹して短歌の革新に貢献し、与謝野晶子、高村光太郎、石川啄木、吉井勇、北原白秋らが寄稿した。

「スバル」(明42・1～大2・12) 「明星」廃刊後に、それに関わっていた北原白秋、吉井勇、石川啄木、高村光太郎らが、森鷗外を指導者として発刊した文芸雑誌。自然主義文学に対抗して明治末の芸術至上主義(新浪漫主義)の中心となった。

「アララギ」(明41・10～平9・12) 伊藤左千夫が中心となって創刊した、正岡子規の根岸短歌会の流れをくむ短歌雑誌。斎藤茂吉、島木赤彦、土屋文明、長塚節らが参加した。

「白樺」(明43・4～大12・8) 武者小路実篤、志賀直哉、里見弴、有島武郎らを同人とする文芸雑誌。人道主義・理想主義を標榜する。

第二次「新思潮」(明43・9～明44・3) 小山内薫を中心に谷崎潤一郎、和辻哲郎らによって刊行された同人雑誌。谷崎潤一郎の『刺青』などを掲載した。

第三次「新思潮」(大3・2～大3・9) と第四次「新思潮」(大5・2～大6・3) ともに芥川龍之介、菊池寛、久米正雄、山本有三らによって刊行された同人雑誌。第四次「新思潮」には芥川龍之介の『鼻』が掲載された。

「文芸時代」(大13・10～昭2・5) 川端康成や横光利一らが参加した文芸同人雑誌。新感覚派の拠点となった。

詩

ポイント

* 下段は文語体、上段は口語体であることに注意しよう。

* 島崎藤村・『若菜集』は頻出。

* 島崎藤村・萩原朔太郎を中心に覚えたい。

新体詩

西欧詩の新しい形式や精神を翻訳した詩

外山正一 ほか訳『新体詩抄』

森鷗外 ほか『於母影』

浪漫派

感情を重んじ、自我の目覚めや解放をつたった流派

北村透谷『楚囚之詩』『蓬萊曲』

島崎藤村『若菜集』

象徴派

近代フランスの〈象徴主義〉の詩の影響を受けた流派

上田敏訳『海潮音』（翻訳詩集）

蒲原有明『春鳥集』

薄田泣菫『白羊宮』

耽美派

官能の世界を幻想的にうたった流派

北原白秋『邪宗門』『思ひ出』

20

治

明

40

大 正

和

昭
20

理想主義の詩

〈白樺派〉の影響を受けて口語により〈理想主義〉精神をつたった詩

高村光太郎『道程』

完成期の口語自由詩

完成度の高い口語による自由な形式の詩

萩原朔太郎『月に吠える』

室生犀星『抒情小曲集』

宮沢賢治『春と修羅』

堀口大宇『月下の一群』（翻訳詩集）

モダニズムの詩

近代西欧の影響を受けた、主知的な詩

詩雑誌「詩と詩論」三好達治『測量船』

西脇順三郎『Ambarvalia』

詩雑誌「四季」中原中也『山羊の歌』

立原道造『萱草に寄す』

詩雑誌「歴程」草野心平『蛙』

金子光晴『落下傘』

戦後詩

戦後の荒廃の中で新しい詩精神の構築をはかった詩

詩雑誌「荒地」鮎川信夫 ほか

現代の詩

谷川俊太郎『二十億光年の孤独』

新体詩

江戸時代まで、詩と言えば漢詩であったのに対し、西欧の新しい詩の形式や精神を取り入れ、近代の新しい詩をめざした。

『新体詩抄』（明15）

訳詩集。外山正一・矢田部良吉・井上哲次郎の翻訳詩と創作詩より成る。

『於母影』（明22）

訳詩集。森鷗外・落合直文らによる。

浪漫主義

感情や情熱を重んじ、青春における自我の目覚めや解放を抒情的にうたった。

北村透谷

（1868-1894）詩人、評論家。日本の初期浪漫主義運動の指導者。

『楚囚之詩』（詩集）

『蓬萊曲』（劇詩）

『内部生命論』（評論）

『人生に相渉るとは何の謂ぞ』（評論）

島崎藤村

（1872-1943）詩人、小説家。北村透谷から感化を受け、自らの詩情を新鮮な官能と優美な韻律で歌った。

『若菜集』（明30）

詩集。恋愛の若々しい感情をうたい文語七五調の（新体詩）を確立した。

『一葉舟』（詩集）

『夏草』（詩集）

『落梅集』（詩集）

『千曲川のスケッチ』（随筆）

土井晩翠

（1871-1952）詩人、英文学者。漢文調で哀愁を含んだ詩を作った。

『天地有情』（詩集）

象徴派

連想や類推の技法により思想やイメージを表現する西欧の（象徴主義）の影響を強く受けた。

上田敏

（1874-1916）詩人、評論家、英文学者。イギリス、フランス、ギリシアなどの詩文を紹介した。

『海潮音』（明38）

訳詩集。主にフランスの象徴主義の詩からなる。

蒲原有明

（1876-1952）詩人。島崎藤村や上田敏の影響を受けて象徴的手法の作品を作った。

『春鳥集』（詩集）

『有明集』（詩集）

薄田泣菫

（1877-1945）詩人。随筆家。島崎藤村的な浪漫詩から出発し、象徴詩の影響下に、蒲原有明と並んで、文語定型詩を完成させた。

『白羊宮』（詩集）

基本チェックテスト

- 1 『古今和歌集』の撰者でない人物を次の中から一つ選べ。
 イ 紀貫之 口 凡河内躬恒 八 在原業平
 ニ 紀友則 ホ 壬生忠岑

- 2 松尾芭蕉と特に関係のないものを次の中から一つ選べ。

- イ 奥の細道 口 さび・しをり 八 蕉風
 ニ 冬の日 ホ 源氏物語玉の小櫛

- 3 『枕草子』の作者を次の中から一つ選べ。

- イ 紫式部 口 和泉式部 八 清少納言
 ニ 小野小町 ホ 中宮定子

- 4 次の作品中の四つは、ほぼ成立時期を同じくしている。一つだけ異なるものを選べ。

- イ 建礼門院右京大夫集 口 方丈記
 八 宇治拾遺物語 ニ 新古今和歌集
 ホ 徒然草

- 5 紀貫之の作品を次の中から一つ選べ。

- イ 新古今和歌集 口 伊勢物語 八 大鏡
 ニ 土佐日記 ホ 枕草子

- 6 第八番目の勅撰和歌集である『新古今和歌集』の代表的撰者を次の中から一つ選べ。

- イ 壬生忠岑 口 清原元輔 八 藤原公任
 ニ 藤原定家 ホ 紀友則

- 7 井原西鶴の作品を次の中から一つ選べ。

- イ 日本永代蔵 口 野ざらし紀行 八 琴後集
 ニ 新花摘 ホ 花月草紙

- 8 本居宣長の国学の師は誰か、次の中から一つ選べ。

- イ 松永貞徳 口 賀茂真淵 八 与謝蕪村
 ニ 西山宗因 ホ 松平定信

- 9 『蜻蛉日記』の作者を次の中から一つ選べ。

- イ 藤原道綱母 口 菅原孝標女 八 清原元輔女
 ニ 阿仏尼 ホ 讃岐典侍

- 10 西行の作品を次の中から一つ選べ。

- イ 今昔物語集 口 金槐和歌集 八 発心集
 ニ 山家集 ホ 和漢朗詠集

- 11 『源氏物語』と同じ作者の他の作品を記せ。

- 12 『源氏物語』と異なるジャンルの作品を次の中から一つ選べ。

- イ 栄花物語 口 浜松中納言物語 八 夜の寝覚
 ニ 狭衣物語 ホ とりかへばや物語

- 13 『源氏物語』よりも後に成立した作品を次の中から一つ選べ。

- イ 竹取物語 口 堤中納言物語 八 宇津保物語
 ニ 落窪物語 ホ 伊勢物語

- 14 平安時代の説話ジャンルの作品を次の中から一つ選べ。

- イ 今昔物語集 口 十訓抄 八 宇治拾遺物語
 ニ 梁塵秘抄 ホ 沙石集

- 15 近松門左衛門の作品を次の中から一つ選べ。

- イ 心中天網島 口 笈の小文 八 柳多留
 ニ 好色一代男 ホ 浮世風

- 16 『玉勝間』の文学ジャンルを次の中から一つ選べ。

- イ 物語 口 俳論 八 随筆
 ニ 歌論 ホ 日記

- 17 『万葉集』の編者と考えられ、入集歌も最多である歌人の名を記せ。

- 18 『雨月物語』の作者名を次の中から一つ選べ。

- イ 井原西鶴 口 上田秋成 八 山東京伝
 ニ 式亭三馬 ホ 十返舎一九

- 19 八代集でないものを次の中から一つ選べ。

- イ 後撰和歌集 口 拾遺和歌集 八 万葉集
 ニ 古今和歌集 ホ 金葉和歌集

- 20 藤原俊成が撰者である勅撰和歌集を次の中から一つ選べ。

- イ 千載和歌集 口 新古今和歌集 八 詞花和歌集
 ニ 後撰和歌集 ホ 拾遺和歌集

- 21 A『蜻蛉日記』、B『更級日記』、C『紫式部日記』、D『土佐日記』を成立順に並べよ。

- 22 歌物語を次の中から一つ選べ。

- イ 源氏物語 口 竹取物語 八 大和物語
 ニ 平家物語 ホ 雨月物語

- 23 浮世草子で有名な作者名を書け。

コラム 有名古典作品の冒頭

問題

「風流隠士の独居讃美」として適当と思われる作品名(I)とその作者名(II)、および作品の冒頭部分(III)を、次にあげた中からそれぞれ二つずつ選べ。

- | | | | |
|--------------------------|-------------------------|--------|---------|
| (I) | 1 徒然草 | 2 方丈記 | 3 枕草子 |
| 4 伊勢物語 | 5 奥の細道 | 6 蜻蛉日記 | |
| 7 源氏物語 | 8 竹取物語 | 9 平家物語 | |
| 10 好色一代男 | | | |
| (II) | 1 行長 | 2 鴨長明 | 3 藤原道綱母 |
| 4 紫式部 | 5 在原業平 | 6 井原西鶴 | |
| 7 清少納言 | 8 松尾芭蕉 | 9 吉田兼好 | |
| 10 作者不明 | | | |
| (III) | 1 いまはむかしたけとりの翁といふものありけり | | |
| 2 いづれの御時にか女御更衣あまたさぶらひける | | | |
| 3 なかに | | | |
| 4 祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響あり | | | |
| 5 男もすなる日記といふものを、女もしてみむとて | | | |
| 6 桜もちるに嘆き、つきはかぎりて入佐山 | | | |
| 7 月日は百代の過客にして、行きかふ年も又旅人也 | | | |
| 8 つれづれなるままに、日ぐらし硯にむかひて | | | |
| 9 春はあけぼの、やうやうしろくなりゆく山ぎは | | | |
| 10 むかし男初冠して、奈良の京春日の里に | | | |
- ゆく河の流れは絶えずして、しかもこの水にあらず
(武蔵野美大・短大)

解説

稀ではあるが、上のような古典作品の冒頭を知っているかを試す問題がある。その場合、たいてい有名出典の有名な冒頭が問われるので、ここに取り挙げたものぐらいい覚えておこう。

解答を出す前に、(I)↓(II)↓(III)の組み合わせを考えてみると、次のようになる。

1↓9↓7、2↓2↓10、3↓7↓8、4↓10↓9、
5↓8↓6、6↓3↓なし、7↓4↓2、8↓10↓1、
9↓10(1説もあり)↓3、10↓6↓5

あまり有名でないのは(III)の5くらいであろうか。世之介を主人公にした西鶴の好色物である。(III)の4「男もすなる日記といふものを……」は言うまでもなく『土佐日記』である。(I)の6『蜻蛉日記』の冒頭が(III)の選択肢にないので、引用しておこう。「かくありし時過ぎて、世の中にいとはのかなく、とにもかくにもつかで世に経る人ありけり」である。

解答は、設問に「風流隠士」「独居」とあるので、鎌倉時代の隠者文学の『方丈記』と「徒然草」を選ばばよい。

正解		
2	1	(I)
2	9	(II)
10	7	(III)

基本チェックテスト(解答)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|----|----|--------|------|-----|-------|----|--------|--------|----|------|------|----|---------|-----|-------|
| 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 口 | 大伴家持 | ハ | イ | イ | 口 | イ | 紫式部日記 | ニ | イ | 口 | イ | ニ | ニ | ホ | ハ | ホ | ハ |
| 32 | 31 | 30 | | 29 | 28 | | 27 | | | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 |
| 仏教説話 | 二 | ハ | | 口・ハ・ホ・ | 落窪物語 | B・ハ | A・ニ | 馬琴 | 田秋成・曲亭 | 井原西鶴・上 | ホ | ホ | 井原西鶴 | ハ | D A C B | イ | ハ |
| | | | | | 42 | 41 | 40 | 39 | 38 | 37 | 36 | 35 | 34 | 33 | | | |
| | | | | | ホ | 平曲 | 和漢混交文 | ハ | イ | ハ | ハ | 春雨物語 | 松尾芭蕉 | 二 | 口・ハ | 世説話 | イ・ニ・ホ |